

# Immerative Gokan



sato project



## プロジェクト概要

佐藤プロジェクトは、五感と知覚・認知・表現を探求し、地域の廃材を素材に新たな価値を見出すプロジェクトです。府中市のNPOと協働し、企業の廃材を表現の素材として活用。廃材に新たな魅力を付加し、五感を通じた体験を提供します。

廃材例：ポンプ運搬用段ボールチップ、居酒屋の廃木材や醤油さし製造工程で製品にならなかった部品  
これらの素材を使い、府中市の芸術祭で作品を発表。持続可能な社会への意識を啓蒙し、資源の再評価を図ります。

## 年間スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
リサーチ	リサーチ	アイデア出し	素材収集	プロトタイプ制作	プロトタイプ制作	最終調整	府中市芸術祭で発表	最終発表	報告書制作

## 前期の取り組み

5月10日

岡本太郎美術館見学

五感をいくつか選んで、その視点で観覧しアイデア出しのヒントを得る

5月19日（日）

「THE ART FUCHU 2024 - 暮らしと表現の芸術祭 -」説明会第2回参加

6月2日（日）12時～16時

ラッコルタキャラバン見学&お手伝い

障がい者成人教室「あすなる学級」でのワークショップ



# プロジェクトメンバー

NE22-1181G 沙魚川 叶多

NE22-1142K 平田 直之

NE22-1182E 小林 海斗

NE22-1196D 風見 大地

NE21-1211B 別所 結実

NE22-1215K 森崎 陽

NE22-1046H 柿沼 弘大

NE22-1135H 橋立 大輝

NE22-1222B 出口 裕麻



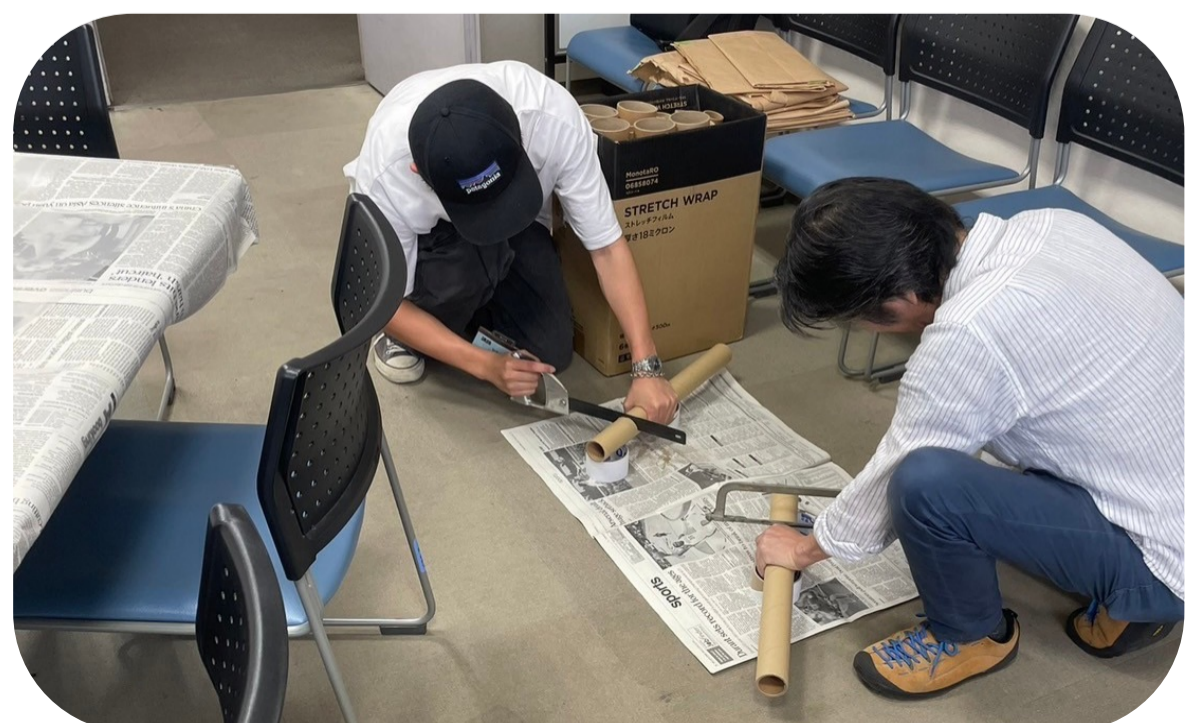
## 協力団体

私たちはNPO団体「Artist Collective Fuchu [ACF]」と協力し、廃材をもとにした五感を感じることができる作品を制作します。ACFは東京都府中市を中心に活動するアートネットワークで、「ラッコルタ」という地元企業の不要部材を創造素材として活かす取り組みを行っています。

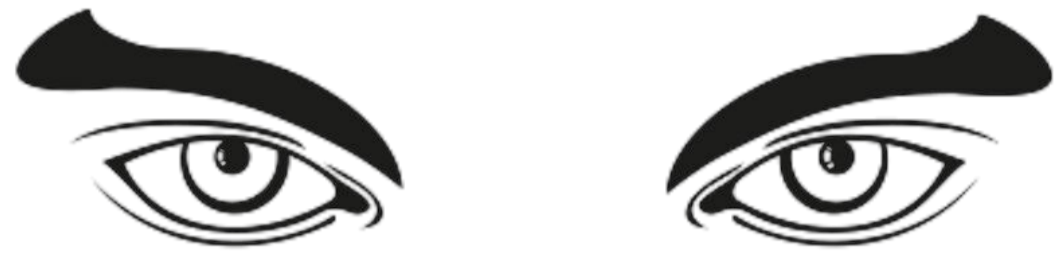


環境を意識したリサイクルにとどまらず、身近にあるモノを違う視点から捉える機会を提供します。

ACFの「ラッコルタ」プロジェクトでは、アーティスト主導のワークショップを通じて、素材から発想した表現活動に取り組みます。

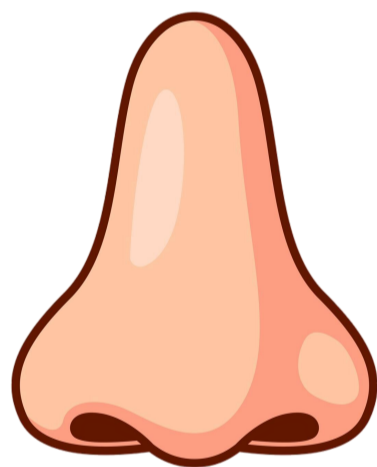


# 体験コンテンツ



顔はめオブジェ  
五感を刺激するアートパネル  
で新たな視覚体験を提供。

効きこなうまい棒  
様々なうまい棒の味を試し、  
味覚の感覚を楽しむ体験。



匂いコルク当てゲーム  
様々な香りを楽しむ嗅覚体験。  
廃材から抽出した香りも使用。

サウンドスケープ  
廃材を利用した音の世界を探求。



触感アート  
廃材を触って感じる  
新たなテクスチャー体験。